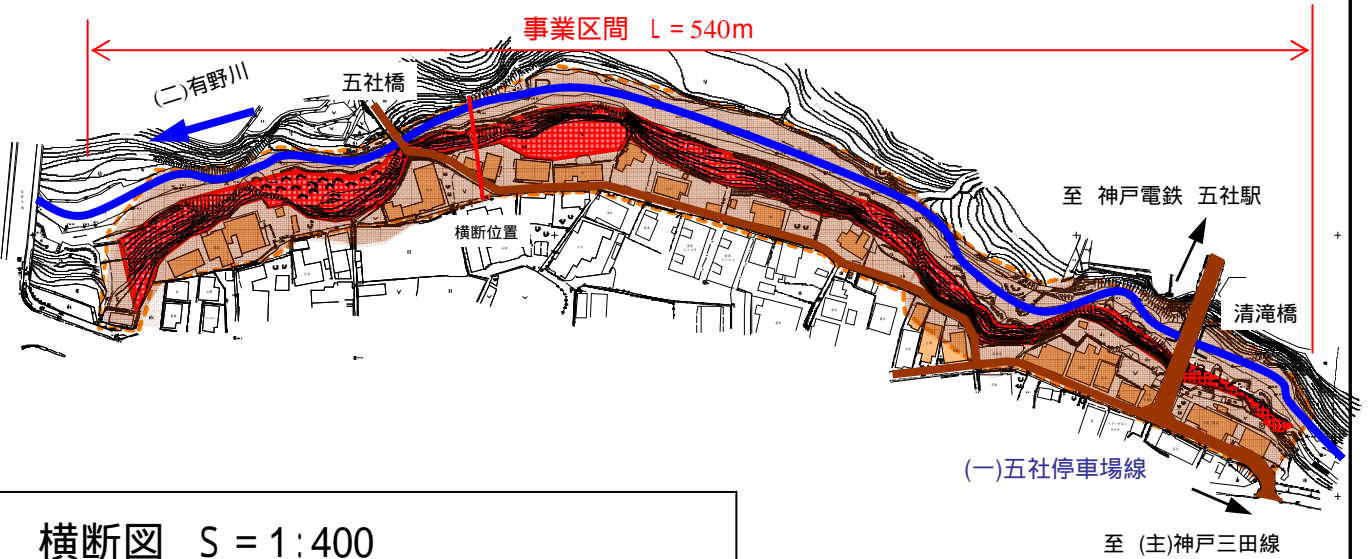


投資事業評価調書（新規）

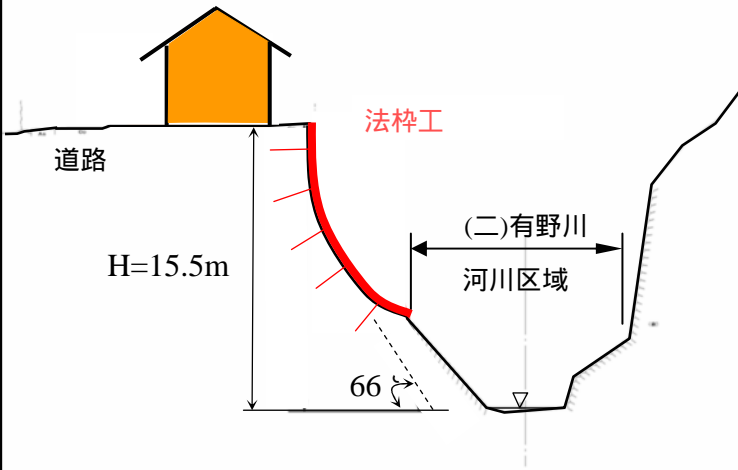
部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (鵜崎 尚夫)	内線	4459 (4467)
------	-----	---------------------	-------------------------	----	----------------

事業種目	急傾斜地崩壊	事業名	事業区間	総事業費	2.6 億円
	対策事業	急傾斜地崩壊対策 ごしや 五社地区	神戸市 きたくありのちょう 北区有野町	内用地補償費	- 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
神戸市北区有野町			H 2 1	H 2 1	H 2 5
事業目的			事業内容		
急傾斜地崩壊による災害の防止 当地区は急傾斜地崩壊危険箇所であり、表層崩壊が進むなど危険性が高まっている。このため、法枠工による対策工事を実施し、斜面上部に位置する家屋、道路等を崩壊から守り、地域の安全・安心な暮らしを支える。			急傾斜地崩壊対策事業（防災工事） 法枠工 L = 5 4 0 m （負担割合 国 : 4 5 . 0 % 県 : 4 5 . 0 % 地元 : 1 0 . 0 %）		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 〔地区の状況〕		<ul style="list-style-type: none"> 神戸電鉄五社駅付近の有野川左岸の斜面上に位置する住宅地であり、急傾斜地崩壊危険箇所。 斜面は、河岸に続く切り立った崖状を呈しており（斜度66度、高さ約16m）、複数の表層崩壊跡やオーバーハング箇所がある危険な状態。 倒木も多く斜面崩壊の危険性が非常に高く、斜面荒廃により崖面が民家に接近してきている（約3m）。 崩壊が発生すると有野川が閉塞され二次災害を招く危険性も高い。 			
〔保全対象等の状況〕		<ul style="list-style-type: none"> 延長540m、幅40mの被害想定区域で、崩壊した場合の影響は大きい。 人家21戸、県道五社停車場線(100m)、市道(500m)、有野川(540m) 			
(2)有効性・効率性 〔効果〕		<ul style="list-style-type: none"> 上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 平成20年度に土砂災害防止法に基づく基礎調査を実施し、平成21年度には土砂災害警戒区域を指定する予定であり、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。 			
〔事業執行環境〕		<ul style="list-style-type: none"> 事業の同意を得ているため借地契約に問題はない。 工事予定箇所付近には市道があり、また対岸からのアプローチも可能であるため工事用進入路に問題が無いことから円滑な事業執行が可能。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> 法枠工の施工にあたっては、斜面の改変を最小限に抑え、既存斜面の緑を残す。また、枠内緑化も施すことで環境保全に努める。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> 危険度が高まるにつれ住民は不安を募らせており、早期着手に対する地元要望が強い。 			
以上より、H 2 1 年度に事業着手し早急な対策が必要である。					

平面図 S = 1:3,000



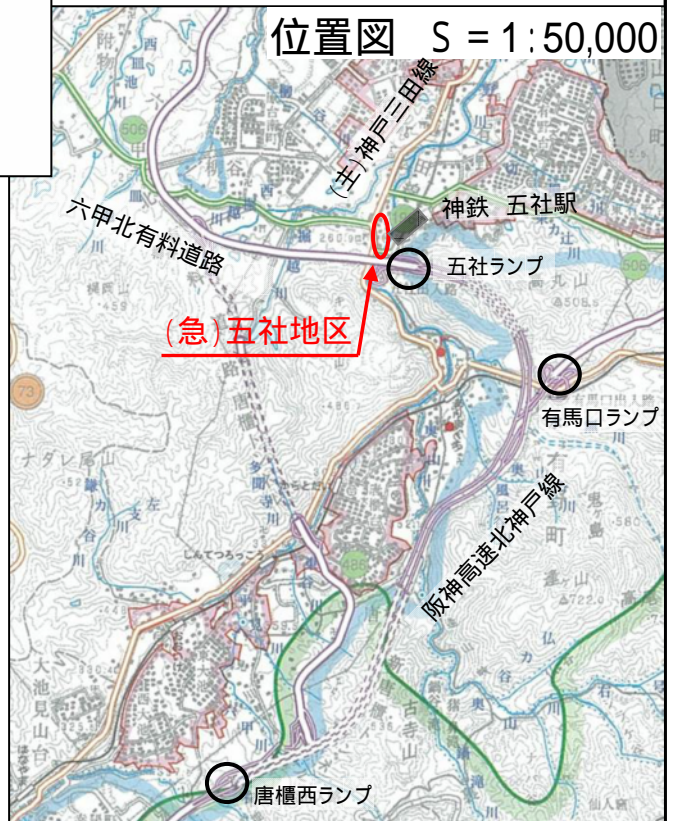
横断図 S = 1:400



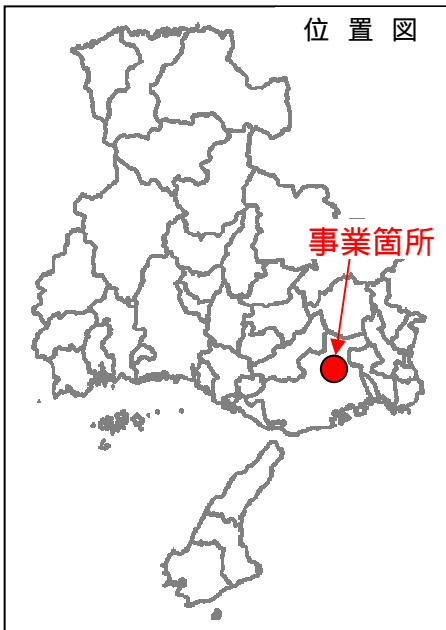
凡例

工事予定箇所	
指定(予定)箇所	
被害想定区域	
保全対象人家	

位置図 S = 1:50,000



位置図



箇所名

五社地区